

息子（神戸大学法学部2年生、21歳）を震災で亡くしぼう然自失の日々を過ごした著者が、息子の残したただ1通の手紙がマスコミに取り上げられたことでさまざまな出会いを重ね、生きる望みを取り戻していくさまを綴る。



母の作品で甦った貴光さん

希望ふたたび

阪神・淡路大震災で逝った息子のただ1通の手紙から

四六判並製 248頁 定価1620円（本体+税） 解放出版社

- 第一部 加藤貴光の生と死**
- 第一章 誕生から幼児期
生まれてきてくれたて、ありがとう／大の仲良しと幼稚園へ
- 第二章 小学校から中学校
「アカンタレ坊や」返上／子どもの力を引き出す一言
- 第三章 高校から大学
国連職員になる決意／浪人をして人間の成長／ポケットの手紙／落合信彦氏からの刺激／ESSへの参加／日本国際学生協会（ISA）への参加
- 第四章 慟哭の始まりー阪神・淡路大震災
貴光の死／言い尽くせぬ悲しみ
- 第二部 絶望から希望へ**
- 第五章 出会いの原点
息子の手紙が読売新聞全国版に掲載／広島テレビ放送との出会い／読売新聞から毎日放送ラジオへの投稿
- 第六章 自分を見つめる場・赤い屋根
不思議なシンクロ／アイビーの花言葉
- 第七章 今も続く心の支え
神戸大学ESSサークルの友…西田直弘さん、二宮奈津子さん／ISAの友…山口健一郎さん／支えるということは、互いに同等の力で押し合う事…松本久子さん／あの手紙が歌に…音楽家・奥野勝利さん
- 第八章 雪解けの季節
一から始まる悲嘆の日々ー東日本大震災／情熱の人、風の人…毎日新聞記者・中尾卓英さん／「ヒューマンライツ部のお母さん」と呼ばれて…盈進中高ヒューマンライツ部／新たな居場所ー広島と福島を結ぶ会

著者（加藤りつこ）について

1995年1月17日未明に発生した阪神・淡路大震災で、一人息子（当時神戸大学法学部2年21歳）を亡くす。生きる気力を失い、茫然自失の日々をさまよう中で、息子が大学入学時、母親宛てに書いた手紙が、彼の死後マスコミで紹介され全国で反響をよぶ。各方面からの依頼で講演活動が始まる。保育園、幼稚園の保護者会・小学校・中学校・高校・大学・地域の女性会・子育て支援センター・教育研修会・労働組合・企業セミナーなどでの講演を行っている。また、息子が遺した手紙と偶然に出会って衝撃を受け、2008年、その手紙に曲をつけ歌ってくれる奥野勝利さんと出会い、今では彼と2人のコンサートと語りのジョイントも行い、マスコミ各社に取り上げられている。2012年4月から、「広島と福島を結ぶ会」を設立し代表となる。東日本大震災で被災した人々や、原発事故で今もお傷つき苦しみを抱えている福島の方々と交流しながら支援を続けている。

申込先 「広島と福島を結ぶ会 ホームページ」 <http://hiroshima-fukushima.com/>
「ひろふくフェイスブック」 <https://www.facebook.com/hirofukumusubu>

お申し込み日 年 月 日

FAX 注文書

FAX:082-843-3590

お名前	TEL	注文数 冊
住所（〒 ー ）		支払い方法 送料無料!! <input type="checkbox"/> 代金引換（代引手数料324円） <small>（商品代+代引手数料324円）</small> <input type="checkbox"/> 銀行振込 お振込手数料はお客様負担となりますので、あらかじめご了承をお願い致します。 ゆうちょ銀行 記号 15100 番号 45068901 ヒロシマトフクシマラムスブカイ <small>※他金融機関からの振込の場合</small> ゆうちょ銀行 【店名】五一八【番号】518 普通預金 4506890
備考（複数箇所へ発送の場合はこちらへご記入下さい）		

※銀行振込をご希望の方は、ご入金確認後の発送となります。